

令和 4 年 2 月 10 日時点

(1) 事務事業の概要		
① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 24 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 令和 年度まで	津波や松くい虫等の被害により、枯損や無立木化した海岸林(市有保安林)の再生を図る。 また植栽イベントを開催し、森林やみどりづくりの大切さについて普及啓発を図る。	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
以前は松くい被害で枯損した箇所へ植栽。 震災に遭ってからは、緑の復旧・復興等も目的として実施し、事業費の一部に緑の募金が充てられている。	無立木箇所への継続的な実施。 植栽に地元小学生に参加してもらっていることで、将来の防災意識の高揚にもつながっていると想定している。	小学生による植栽は荒天等で中止が続くが、変わりに行った啓発授業では「海岸のマツ林は大切な」等の声が聞かれた。

従事職員数 常時 1 人 最大 1 人 × 10 日 = 延べ 10 人

① 主な活動		③ 活動指標名	単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (計画)
手段	2年度実績(2年度に行った主な活動) 市有保安林にクロマツ・トベラ・マサキの植樹を実施。例年実施している、植樹会については、新型コロナの影響により中止とした。	ア 植栽の面積	m ²	896	640	512	384	384
		イ						

② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)		④ 成果指標名	単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (計画)
目的	対象意図 市有海岸保安林 枯損した海岸林を再生し、防災機能の回復を図る。	ア 植栽の面積累計	m ²	7,246	7,886	8,398	8,782	9,166
	対象意図	イ						

①成果優先度評価結果		成果向上余地		
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない
施策貢献度	大きい			
	普通		⑤	
	小さい			

②コスト削減優先度評価結果		コスト比率		
		下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
成果優先度 評価結果	①			
	②			
	③			
	④⑤	(4)		
	⑥			
	⑦⑧			
	⑨			

年度	人数 (人)
H29	7,200
H30	7,800
R1	8,400
R2	8,800
R3計画	9,200

評価内容	① 進捗状況														☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難													
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)																											
	② 成果の状況		成果指標ア	成果指標 のタイプ	↗	数値増＝成果向上	☐ 向上	☒ 横ばい	☐ 低下	成果 比較 動向	28年度	29年度	30年度	1年度	2年度													
			成果指標イ				☐ 向上	☐ 横ばい	☐ 低下		29年度	30年度	1年度	2年度	3計画													
	【コメント】 (低下の場合、その理由)										ア	896	640	512	384	384												
									イ																			
③ 今年度取組事項 (3年度に取り組む主な事項について記載)		時期	内容				今後の方向性	☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 現状維持 ☐ 見直し ☐ 廃止・休止 ☐ その他()																				
		2月	植樹会を開催し引き続き子ども会に参加を呼びかける																									